

地域教育懇談会だより

平成27年12月10日(木)
郡山市教育委員会
学校教育推進課 (924)2431

清水台地区「地域教育懇談会」を開催しました



小野義明 教育長

清水台地区「地域教育懇談会」を11月19日(木)午後7時から郡山地域職業訓練センターで開催しました。金透小学校、芳山小学校、郡山第二中学校、セントポール幼稚園の保護者や教職員、地域の皆様など、72名の参加がありました。前半は小野義明教育長をはじめ、教育委員会事務局職員から、本市の教育行政について説明しました。後半は6つのグループに分かれて共通テーマについて具体的な協議を行いました。

各課、各センターにおける教育施策の説明

学校教育推進課

授業改善と確かな学力の育成、特色ある教育活動の推進、道徳教育の充実、いじめの根絶、小中連携教育、通学路安全点検等

学校管理課

子どもの健康日本一をめざす体力向上推進構想、学校給食・食育の充実、学校体育指導者研修の実施、学校図書館の充実等

教育研修センター

個に応じた学習指導や授業力向上を図る各種研修、タブレット端末等のICT機器の整備、家庭と連携した情報モラル教育の推進等

総合教育支援センター

学校不応児児童生徒への個別対応、スクールカウンセラーの全校配置、幼・保・小の連携教育の推進等

グループ協議 【共通テーマ】 「子どもの安全安心を守る地域」

後半は、参加者全員が6グループに分かれ、「子どもの安全安心を守る地域」を共通テーマに、問題点や対応策について活発な意見交換を行いました。

各グループでの主な協議内容

Aグループ 家庭における子どもの安全教育のあり方について、それぞれの立場で見た現状と、これからの改善点などが出されました。

Bグループ 家庭における子どもの安全教育のあり方について、情報交換を中心に話し合われました。

Cグループ 3つの小テーマで話し合われました。

- ①スマートフォンの扱いについて
- ②自転車の乗り方について
- ③家庭における危険箇所の指導はどうか

Dグループ 携帯・スマートフォンについて話し合われました。

Eグループ 2つの小テーマで話し合われました。

- ①携帯・スマートフォン・インターネットの諸問題
- ②帰宅後の子どもの様子は把握しているか。

Fグループ 2つの小テーマで話し合われました。

- ①地域の危険箇所、学校と家庭が連携した安全教育について
- ②携帯・スマートフォンの使用について



グループ協議の様子

参考となる取組みや意見がたくさん出されました

<交通安全について>

- ・交通安全母の会の活動に大変感謝している。
- ・明るい色の服を着せたり、明るい色の傘を持たせている。
- ・子どもには、自分の目で安全確認をしっかりとしてから渡ることを家庭でも指導している。
- ・自転車の乗り方について小学生低学年のときからそのルールなどについて(特に狭い道の乗り方など)各家庭で指導することが大切である。
- ・送迎時の車の事故防止が大切である。子どもが安全に乗り降りすることについても、意識づけが必要である。

<携帯・スマートフォンについて>

- ・「持つな」ということより「どう使うか」の指導が大切である。
- ・親のSNSへの書き込みは、児童生徒も見ることができるので、書き込んだ親の子どもがいじめの対象となったケースがある。だれでも見られるという怖さを、機器を与える大人から学んでいく必要がある。
- ・GPS機能を利用するケースは多いが、親がGPS機能を頼りすぎて、子どもの実態が分からなくなるのも危険である。
- ・駅前、アーケード周辺は震災前より危険度が高くなった。暗い道も多いので、家庭での注意が必要である。

みなさんの話し合いを聞いて、「だめなものはだめ」とだれもが声かけできる明るいまちを、学校、保護者、地域が一緒になってつくっていくことが大切だと感じました。